

## 日本陸上競技連盟からのお知らせ

## 目 次

## ■活動報告

2022(令和4)年度 日本陸上競技連盟全国競技運営責任者会議報告

2023年2月12日(日)に日本陸上競技連盟全国競技運営責任者会議を、WEB会議システムを用いて開催しました。

第7期JTOs育成セミナー報告/JTOs研修会報告

第7期JTOs育成セミナーとして、講義を2022年11月13日(日)にオンライン形式で、選考試験を11月20日(日)に東京・大阪・福岡の3会場で実施しました。

2023年1月28日(土)にJTOs研修会を、WEB会議システムを用いて開催しました。

第48回日本陸上競技連盟トレーナー研修会報告

2023年1月8日(日)に第48回日本陸上競技連盟トレーナー研修会をオンライン研修会として開催しました。

JAAF公認コーチ(JSPO公認陸上コーチ1・3、スタートコーチ)養成講習会報告

今年度のスタートコーチ養成講習会は2022年6月から2023年3月まで15都道府県19会場で実施され、ジュニアコーチ養成講習会は、2022年7月から2023年2月までの間に、7会場の共通科目講習会、20都道府県21会場の専門科目講習会が実施されました。

## ■大会観戦ガイド

第47回全日本競歩能美大会

第107回日本陸上競技選手権大会・35km競歩

第62回全日本競歩輪島大会 &lt;斉藤和夫杯：男女全日本10km競歩&gt;

## ■事務局からのお知らせ

JAAF×SDGs #LETSTHINK\_特設サイト公開!!

セイコー GGP キービジュアル第1弾公開!「世界体感」～世界のトップアスリートが集結する最高峰の大会をその目に焼き付けろ!～

3月29日開催! JMCシリーズIIアワード マラソン日本一の称号は誰の手に!?

## information

- ・ 個人情報の共同利用について  
<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16577/>
- ・ 日本陸連登録料の設定について  
<https://www.jaaf.or.jp/about/fee/>
- ・ WRk 対象競技会/広告規程について  
<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>
- ・ 陸上競技場、長距離競走路の認定について  
<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/shisetsu/>
- ・ 代表選手派遣大会選考要項 2023年度  
<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15943/>



- ・ 代表選手派遣大会選考要項 2024年度  
<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16334/>
- ・ アンチドーピング/鉄剤注射の防止  
<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>
- ・ 【ブダペスト世界選手権】  
エントリースタンダード  
[https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202208/24\\_100216.pdf](https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202208/24_100216.pdf)



# 2022(令和4)年度 日本陸上競技連盟 全国競技運営責任者会議 議事録

2023年2月12日(日) 12:00~16:10 オンライン開催

## 競技会報告

日本選手権混成(秋田)、日本選手権(大阪)、インターハイ(徳島)、全中(福島)、国体(栃木)、U18・U16(愛媛)の各大会について報告が行われた。

### 2023年度競技規則修正提案(片岡裕委員)

○WAによる競技会・記録の大枠の考え方の変更〔一般定義、TR1、TR11.1〕

○世界記録・日本記録の対象種目の追加〔CR32、CR37.10、TR19.23.3、TR19.24.5〕

○光波(ビデオ)計測装置の正常動作(計測値)の確認〔CR28〕

○競技用靴に関する規程の再確認〔TR5.2〕

それぞれの修正箇所について説明が行われた。

### 海外競技会報告(関根副委員長)

アジア室内(カザフスタン)に派遣されている関根副委員長より、現地の状況について報告が行われた。

### 施設用器具委員会報告(高木施設用器具委員長)

・技術総務の派遣、国際道路コース計測員の派遣についての説明。

・グループスタートの代用縁石の置き方についての説明。

以上の項目など、施設用器具に関する報告が行われた。

### WRk申請について(鈴木委員長)

WRk競技会の申請方法について説明が行われた。

### 競技会におけるユニフォームの形式について(和賀局員)

盗撮防止の一環として、アスリートが着用するユニフォーム形式はルールに違反しなければ、選択の自由が与えられるべきであることについて等、競技会で取り組んでもらいたい対策の説明が行われた。

### 2022年度JTO活動報告(羽田幹事)

JTO派遣競技会の中から、いくつかの事例報告が行われた。

### プロジェクトチームより

#### ①競技カレンダー・記録PT(鍋島委員)

2023年度の競技会公認申請手順について、説明が行われた。

#### ②広告展示物規則PT(田中委員)

競技会における広告および展示物に関する規程について、主に以下のような説明と報告が行われた。

- ・商標に関するチェック体制の整備
- ・WRk申請競技会開催時の広告規程の扱い(国内ガ

イドライン適用)

・アスリートビブスの作りにかかる広告規程和訳の修正と国内規程の競技規則TR5から広告規程C7.4へ移行

#### ③審判ハンドブックPT(関委員)

4月に発行予定のハンドブックについて、内容や変更点などの説明が行われた。

### S級審判昇格審査報告(町田幹事)

S級昇格審査の実施報告と申請にあたっての注意点、次年度以降からの審査方法変更点などについて説明が行われた。

### JTOs育成セミナーについて(羽田幹事)

11月に実施された第7期JTOs育成セミナーについての報告が行われた。

### JRWJsセミナーについて(町田幹事)

2022年11月に実施された対面研修と、2023年度に実施予定のJRWJsセミナーについての説明が行われた。

### 2025年世界陸上について(鈴木委員長)

2025年世界陸上について、開催日程や現在の準備状況、今後の検討課題などの説明が行われた。

### あいさつ(鈴木委員長)

2023年度に向けてルールの修正をはじめ、必要と思われる内容を説明、報告させていただいた。今後もリモート等を活用してコミュニケーションを取り、疑問点の解消を図っていただきたい。よろしくお願いいたします。

### 閉会あいさつ(風間専務理事)

今年度も皆様のご尽力がなければ大会が開催できなかった。これに対して感謝申し上げる。世界陸上について、皆様とともに成功への道をたどっていきたいと考えている。



# JTOs研修会

2023年1月28日(土) 13:00 ~ 16:20 オンライン会議

## あいさつ (関根副委員長)

今年は修改正が少ないので、これまでの審判活動の中で気になることを議論していきたい。ルールに書かれていない対応について共通認識できればと考えている。活発な議論をしていただければ幸いである。

## 競技規則修改正 (片岡裕委員)

- WAによる競技会・記録の大枠の考え方の変更〔一般定義、TR1、TR11.1〕
  - ・国際競技会 → ワールドランキングコンペティション (World Ranking Competitions)〔一般定義〕
  - ・ワールドランキングコンペティションは「CR + TR + WAが定める諸規則」に従って行われなければならない〔TR1〕
  - ・ワールドランキングコンペティションで達成された記録のみが有効〔TR11.1〕…ワールドランキングコンペティション対象競技会での記録でなければ世界記録・ワールドランキング・世界陸上等の大会の参加資格取得に必要な記録(参加標準記録)の対象とならない。
- 世界記録・日本記録の対象種目の追加〔CR32、CR37.10〕
  - ・男子・女子ともに道路競技1マイルが追加。
- 光波(ビデオ)計測装置の正常動作(計測値)の確認〔CR28〕
  - ・現状では競技種目の開始前チェックのみ。変更後は競技種目の開始前、終了後に確認する。
- 競技用靴に関する規程の再確認〔TR5.2〕
  - ・ルールブック本文に2024年11月1日から適用の靴底

厚も記載。

## グループワーク I

(IH 男子砲丸投、国体少年女子三段跳の事例について)

## グループワーク II

(救済について、フリートーク)

- ・1グループ7名前後で6グループ編成し、提示されたテーマについて活発な議論が行われた。その内容については誌面の都合上、割愛する。

## WRKに関連することについて (関根副委員長)

- ・ポイントランキング制度では、例えば100mでは5回出した記録の平均がその競技者のポイントとなる。
- ・今年、ブロンズレベル審判員の試験を行う。WAのサイトに学習するためのコースが英語版で用意されているので、ぜひチャレンジしていただきたい。

## 派遣競技会で気を付ける広告規程 (田中委員)

- ・トラック&フィールド競技会および、道路競技に派遣された際の注意点やチェックポイント、確認事項並びに対処方法を整理して資料を作成した。具体的違反事例も示した。派遣の際、活用してほしい。

## あいさつ (鈴木委員長)

全国会議も予算の関係で対面での会議は厳しい状況である。次年度も厳しい状況に変わらない。情報機器を使いつつよりよいものにしていきたい。引き続き協力をお願いしたい。

## 第7期JTOs育成セミナー

第7期JTOs育成セミナーとして、3会場で開催した。受験者25名中、7名が合格となった。初の女性(2名)、80年代生まれ(4名)のJTOが誕生した。

# 第48回日本陸上競技連盟トレーナー研修会報告

医事委員会 トレーナー部 委員 眞鍋芳明

2023年1月8日（日）に第48回日本陸上競技連盟トレーナー研修会（以下、日本陸連トレーナー研修会）をオンライン研修会として開催しました。日本陸連トレーナー部は活動理念として、「選手のピークパフォーマンス発揮に貢献する」、「安全で健全な陸上競技環境作りに貢献する」を掲げており、登録部員を対象に研修会を行うことでのスキルアップ向上を重要な事業の1つとしています。また、本研修会は日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格の更新講習に認定されています。

今回の研修会アジェンダは図1の通りです。講義に先立ちトレーナー部総会が行われ、岩本部長の年頭の挨拶から始まり、山澤医事委員長に「アンチ・ドーピングの

最新情報」について情報共有を頂きました。次に活動報告として砂川トレーナー（Well鍼灸整体・ピラティス代表）から「オレゴン2022世界陸上競技選手権大会」についての日本代表帯同報告と、加藤委員（陸連トレーナー部委員）から「アウトリーチ活動および新救護記録」について紹介して頂きました。特にアウトリーチ活動については、我々トレーナー部の活動を日本全国の陸上競技関係者に広く知って頂くために今年度から新規に開始した事業であり、講義終了後においても受講生から高い関心が寄せられていました。

続くメインプログラムのテーマは「最新の整形外科的アプローチの理解」であり、3人のスポーツドクターに

テーマ 「最新の整形外科的アプローチの理解」	
1. トレーナー部総会	アンチ・ドーピングの最新情報：山澤文裕（医事委員長） 日本代表帯同報告：砂川祐輝（Well鍼灸整体・ピラティス代表） アウトリーチ活動および新救護記録：加藤基（トレーナー部委員）
2. 講義	(1) 多血小板血漿治療（PRP：Platelet Rich Plasma） 金子晴香（順天堂大学） (2) 体外衝撃波治療（ESWT：Extracorporeal Shock Wave Therapy） 田中健太（医療法人慈厚会野上病院） (3) 高気圧酸素治療（HBO：Hyperbaric Oxygen Therapy） 柳下和慶（東京医科歯科大学）
3. 総括	

図1 トレーナー研修会アジェンダ

PRP療法の注意点・問題点
✓ PRP作成法により作用が異なる
✓ 届け出たキットしか使えない
✓ キットの価格差⇒治療費の差 (高いからといってより効くわけではない！)
✓ PRP-FDは届出不要
✓ 有効性のエビデンス不足 (高いエビデンスは関節炎のみ)
✓ 推奨プロトコールがない

図2 多血小板血漿治療（PRP）について

お話頂きました。順天堂大学の金子先生からは「多血小板血漿治療 (PRP : Platelet Rich Plasma)」について、治療のメカニズムから、PRPの種類と特性、治療事例について詳しくお話頂きました (図2)。PRPはまだまだ有効性についてのエビデンスが不足していること、推奨プロトコルがないことなど、実施において注意しなければならない問題点があることも指摘頂きました。

医療法人慈厚会野上病院の田中先生からは「体外衝撃波治療 (ESWT : Extracorporeal Shock Wave Therapy)」について、衝撃波発生のメカニズム、作用機序、生体におよぼす影響、そして期待される効果についてお話頂きました (図3)。現在、ESWTは治療現場において広く使われる方法であり、推奨される照射強度、頻度、およびスケジュールなどについて具体的な数値までご紹介頂きました。

東京医科歯科大学の柳下先生からは「高気圧酸素治療 (HBO : Hyperbaric Oxygen Therapy)」について、国

内最大規模を誇る同大の装置についての紹介、HBOの治療メカニズム、副作用とその危険性、そして期待される治療効果と治療例についてお話頂きました (図4)。特に治療例についてはHBO効果の分子メカニズム、経時変化について詳細な説明を頂きました。

いずれも最新の整形外科的アプローチについての理解を深める上で、深く専門的な講義であり、各治療法のメカニズム、適応、整形外科治療における立ち位置、そしてエビデンスと実臨床データの紹介は、我々アスレティックトレーナーが最新かつ幅広い知識を得るための非常に良い機会となりました。

今年は2月にアスタナアジア室内競技大会、7月にバンコクアジア陸上競技選手権大会、そして9月には杭州アジア競技大会と、アジア規模の国際試合が続きます。我々日本陸連医事委員会トレーナー部は今後も継続して研鑽を積み、今後の強化競技者へのサポート、国内大会でのサポート、各都道府県陸協での活動として活かしていきます。

NOGAMI HOSPITAL Orthopedic and Rehabilitation

**除痛作用**

- ・自由神経終末の変性→除痛・腱再生の引き金 (Ohtori S. 2001)
- ・NFκBの抑制 →慢性炎症の抑制 (Frairia et al. 2011)

**組織修復作用**

- ・機械的刺激によるTGFB1・IGF-1の放出 (Chen YJ. 2004)
- ・内因性NO増加によるI・III型コラーゲンの産生 (Chao YH. 2008)
- ・犬のアキレス腱で毛細血管の増加 (Wang . 2002)

ESWT  
 の作用  
 機序

図3 体外衝撃波治療 (ESWT) について

**高気圧酸素治療 (HBO) について**

- ・軟部組織外傷 (捻挫, 打撲, 肉離れ, 靭帯損傷等) に対するHBOにより, 早期回復が期待される。
- ・外傷による低酸素環境を呈する病態に有効性が期待される。
- ・受傷早期, できれば3日以内での治療開始が望まれる。
- ・エビデンスは不足しており, 今後の研究が期待される。
- ・治療可能な病院は現状限定してしまっているが, 病院以外での「高圧, 酸素?環境」の適応には問題があり, 注意を要する。

図4 高気圧酸素治療 (HBO) について

# JAAF公認コーチ(JSPO公認陸上競技コーチ 1・3、スタートコーチ)養成講習会報告

指導者養成委員会 副委員長 沼澤秀雄

日本陸上競技連盟(JAAF)は2020年11月に発表した指導者養成指針において、陸上競技の指導現場に立つ全ての指導者のコーチ資格取得を目指し、資格取得後も継続的に学習できる環境を整備するための、コーチ養成システムの再構築を掲げた。2022年度はコーチングを基礎から学べる資格として、JAAF公認スタートコーチ(以下スタートコーチ)を新設し(2021年度は陸連主催で開催)、JAAF公認ジュニアコーチ(以下ジュニアコーチ)、JAAF公認コーチ(以下公認コーチ)とともに3カテゴリーでの養成講習会を実施している。

今年度のスタートコーチ養成講習会(1日講習)は2022年6月から2023年3月まで15都道府県19会場で開催され、405人が修了した。

ジュニアコーチ養成講習会は、日本陸連主管の共通科目として実施される日本スポーツ協会(以下JSPO)公認スポーツリーダー養成講習会(オンライン講習による2日講習)と、実技を中心とした専門科目講習会(日本陸連または都道府県陸協が主管する2日間の集合講習)で構成され、2022年7月から2023年2月までの間に、7会場の共通科目講習会、20都道府県21会場の専門科目講習会が実施された。修了者は631人であった。

公認コーチ養成講習会については、専門科目講習会として、2022年8月11日にオンラインによるライブ講習、2022年8月12日～10月13日まで同オンデマンド講習を実施し、63人が受講した。そして、2022年12月と2023年1月に国士館大学(2回)、中央大学(1回)を会場として3回の実技講習(2日間の集合講習)が実施され、過年度生を含む合計88人が修了する予定である。なお、同講習会での共通科目はJSPOが実施している。

上記3つの講習会における修了者(修了予定者を含む)は昨年度の養成者よりも599人多く、開催にあたり、会場及び講師の調整において尽力いただいた都道府県陸協や会場提供いただいた国士館大学及び中央大学の理解と協力の賜物と考え、感謝申し上げる。

なお、2023年度の各講習会については昨年末に開催された全国普及育成・指導者養成担当者会議において、開催要項を各都道府県に提示した。公認スタートコーチ養成講習会については、今年度と同様に会場募集をし、30を超える会場で実施を計画している。また、公認ジュニアコーチ養成講習会については、JSPOのカリキュラム改定によりJSPO公認スポーツリーダーが廃止となり、JSPOが実施する共通科目講習会と、日本陸連及び都道府県陸協が実施する3日間(オンライン1日+集合講習2日)の専門科目講習会となる。開催会場については、多くの都道府県から開催要望があり25会場を超える予定である。公認コーチ養成講習会については、今年度と同様に、オンライン講習と集合講習(3会場)で専門科目講習会を実施する予定である。なお、各講習会の実技講習については新型コロナウイルス感染症の感染予防を徹底しながら対面での実施を計画している。

今後、スポーツ基本計画や中学校運動部活動の地域移行、そして本連盟の会員登録制度刷新などに伴い、講習会の需要が増えることが予測される。引き続き多くの指導者や指導者をを目指す人が受講できる環境を、都道府県陸協と共に整えていきたいと考えている。

表 2022年度公認コーチ養成講習会の開催会場及び修了者数

公認指導者資格	開催会場(集合講習)	修了者数
JAAF公認コーチ	東京①②③	88人
JAAF公認ジュニアコーチ	北海道/青森/岩手/山形/茨城/栃木/埼玉/東京①② 新潟/山梨/岐阜/静岡/愛知/三重/京都/大阪/ 岡山/山口/宮崎/鹿児島	631人
JAAF公認スタートコーチ	北海道/山形/群馬/埼玉/東京①②③/千葉①②/新潟①② 岐阜/長野/愛知/京都/大阪/広島/福岡/大分	405人
合計	43会場	1124人

# 大会観戦ガイド

**第47回全日本競歩能美大会**  
兼 Asian20km RaceWalking  
Championships in NOMI 2023  
兼 ブダペスト 2023 世界陸上競技選手権大会  
日本代表選手選考競技会  
兼 杭州 2022 アジア競技大会  
日本代表選手選考競技会  
兼 バンコク 2023 アジア陸上競技選手権大会  
日本代表選手選考競技会  
兼 ワールドユニバーシティゲームズ  
(2021 / 成都) 日本代表選手選考競技会

▼期日：2023年3月19日（日）

▼スタート（種目／競技開始時刻）：

中学生男子 3km 競歩 8時10分

中学生女子 3km 競歩 8時10分

男子全日本・Asian・学生選手権 20km 競歩 8時50分

女子全日本・Asian・学生選手権 20km 競歩 10時35分

高校生女子 5km 競歩 12時35分

高校生男子 10km 競歩 13時10分

▼コース：

日本陸上競技連盟公認能美市営 20km コース（往復 1.0km）

▼問合せ先：実行委員会事務局

TEL：0761-58-2273 FAX：0761-55-8555

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1704/>



**第107回日本陸上競技選手権大会・35km 競歩**  
兼 ブダペスト 2023 世界陸上競技選手権大会  
日本代表選手選考競技会  
兼 杭州 2022 アジア競技大会  
日本代表選手選考競技会 ※男子のみ  
第62回全日本競歩輪島大会  
<斉藤和夫杯：男女全日本 10km 競歩>

▼期日：2023年4月15日（土）・16日（日）

▼スタート（種目／競技開始時刻）：

[4月15日（土）]

女子中学 3km 競歩 12：20

女子高校（1・2年）3km 競歩 12：20

男子中学 3km 競歩 13：00

男子高校（1・2年）3km 競歩 13：00

男子全日本 10km 競歩 <斉藤 和夫杯> 13：40

男子U 20 10km 競歩 13：40

女子全日本 10km 競歩 <斉藤 和夫杯> 14：40

女子U 20 10km 競歩 14：40

[4月16日（日）]

日本選手権 男子35km 競歩 8：00

日本選手権 女子35km 競歩 8：00

女子高校 5km 競歩 11：35

男子高校 35km 競歩 12：15

▼コース：

道の駅輪島ふらっと訪夢前往復コース・日本陸連公認競歩コース（1周1の往復コース）

▼問合せ先：

【大会事務局】輪島市教育委員会生涯学習課スポーツ推進室 全日本競歩輪島大会 実行委員会事務局

TEL：0768-23-1176 FAX：0768-23-1129

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1750/>



写真：フォート・キシモト

事務局からのお知らせ

◆◆JAAF×SDGs #LETSTHINK\_特設サイト公開!!◆◆

2022年7月1日より陸上を通してSDGsなどの社会的な課題についてみんなで考えて取り組んでいくプロジェクト「#LETSTHINK\_(レッツシンク)」の特設サイトを公開しましたのでお知らせいたします。

▼#LETSTHINK\_特設サイト

<https://www.jaaf.or.jp/sdgs/>



◆◆セイコー GGP キービジュアル第1弾公開！「世界体感」

～世界のトップアスリートが集結する最高峰の大会を  
その目に焼き付けろ！～◆◆

2023年5月21日(日)に日産スタジアム(横浜)で開催する「セイコーゴールデングランプリ陸上2023横浜」の第1弾キービジュアルが完成いたしましたので、お知らせいたします。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17502/>



▼セイコーゴールデングランプリ特設サイト

<http://goldengrandprix-japan.com/>



◆◆3月29日開催！JMCシリーズIIアワード マラソン日本一の称号は誰の手に!?◆◆

この度、「ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズシリーズIIアワード」を3月29日(水)東京都内で開催することが決定しましたので、お知らせいたします。

JMCアワードでは、3月19日(日)に開催されるシリーズII最終戦「とくしまマラソン2023」終了後に確定するJMCランキングの男子1～8位、女子1～8位の選手を表彰いたします。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17401/>



▼JMCシリーズ特設サイト

<https://www.jaaf.or.jp/jmc-series/>



▼JMCシリーズIIポイントランキング

<https://www.jaaf.or.jp/jmc-series/series2/ranking/>



陸連時報編集委員

◇編集委員

- 尾縣 貢 (陸連会長)
- 黄倉 寿雄 (陸連副会長)
- 瀬古 利彦 (陸連副会長)
- 有森 裕子 (陸連副会長)
- 風間 明 (陸連専務理事)
- 山崎 一彦 (陸連強化委員長)
- 鈴木 英穂 (陸連事務局長)
- 石井 亮 (陸上競技マガジン編集長)

◇時報編集室責任者

- 石井 朗生
- ◇時報編集担当
- 日本陸連 広報課

陸連時報編集室

〒160-0013  
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2  
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階  
日本陸上競技連盟内  
TEL : 050-1746-8410  
FAX : 050-3588-1869